

病院の理念…私たちは、個人の人格を尊重し、思いやりの心をもって信頼される全人的医療を実践します。

当院での新型コロナウイルス感染症クラスター対応について

公立甲賀病院 院内感染対策本部

昨年末より当院では新型コロナウイルスのクラスターが二度も発生し、患者さんや御家族様、地域住民の皆様、関係機関の皆様には大変なご迷惑とご心配をおかけしました。ここでは当院で対応した概要をお示しします。詳細についてはホームページをご参照ください。

- 昨年12月25日に一般入院患者さん1人のコロナ感染が明らかとなりました。直ちに保健所に報告、濃厚接触疑いの患者さんと職員に検査を実施（計83人）、その病棟で危険領域と安全領域の区分けの実施、病棟中央ホールでの食事中止、などを行いました。当日検査で患者さん8名の陽性が判明しましたので、感染患者さんのコロナ病棟への転棟あるいは転院を調整、新規入院の停止、病棟職員へゴーグル・フェイスシールドの常時着用、すべてのケアにガウンと手袋の着用、職員の健康チェック・検温と黙食の徹底、仮眠室の共有回避、などを通達しました。また病院全体としても新規の全入院患者さんへ入院前PCR検査、より厳しい面会禁止を実施しました。この間、甲賀保健所と県のクラスター班の視察・指導を受けております。
- 本年1月25日にクラスター終息と判断しましたが、初回とは異なる病棟で二度目のクラスターが発生しました。初期対応の後、保健所と県のクラスター対策班の視察と指導を頂き、前回よりさらに厳しく当該病棟の全看護師と医師の出勤停止、病棟に出入りした他職種スタッフと出入り業者含め約360名のPCR検査を行いました。検査結果は全員陰性でした。しかし、その後に欠員補充のため応援に来た看護スタッフまでもが発症する事態が生じました。厚生労働省クラスター班に4日間の調査を受けたところ、ウイルスの侵入経路は特定できませんでしたが、感染拡大の要因として1) 当該病棟はケアが濃厚なため患者さんへの密着度が高く時間も長い、2) 夜勤時間帯は多忙のため感染防護具にわずかな隙間を生じやすい、3) 激しい咳や吸入酸素量が多い場合はエアロゾル感染も起こりうる、といった指摘を頂きました。これらを受け、その病棟の患者数制限、ケア別の使用防護具の見直し、スタッフ訪床時の可能な限りの換気、などを行いました。
- 3月10日にクラスター終息としましたが、何としても感染を持ち込まないための対策として、病院玄関における出入りの明確な区切り、御家族からの荷物受け渡し場所の変更、面会禁止のみならず病状説明などの制限、全職員の健康観察のための新規ツールの導入を行いました。診療におきましてもPCR検査の遅滞なき実施を行い、早期発見に努めて参ります。

せっかく治療・療養のために入院頂いた患者さんとその御家族の期待を裏切るような事態を招いたことには、当院として忸怩たる思いがあります。感染制御の徹底を継続し、皆さんの信頼を再び取り戻せるよう努めてゆく所存です。